

議会運営委員会

令和4年12月14日（水曜日）午前 9時30分開会

出席委員（7名）

委員 長 齊藤 誠之
委員 山形 紀弘
委員 鈴木 伸彦
委員 大野 恭男

副委員 長 星 宏子
委員 森本 彰伸
委員 小島 耕一

欠席委員（1名）

委員 中里 康寛

オブザーバー（2名）

議長 松田 寛人

副議長 相馬 剛

説明のための出席者（なし）

出席議会事務局職員

事務局 長 増田 健造
議事課長補佐
兼庶務係長 印南 恵子
主 査 飯泉 祐司

議事課 長 相馬 和男
議事調査係長 長岡 栄治

議事日程

1. 開 会

2. 挨拶

- ・委員長
- ・議 長

3. 協議事項

- (1)「肥料価格等の高騰により影響を受けている酪農・畜産農家への支援を求める決議」について
- (2)その他

4. 閉 会

開会 午前 9時30分

◎開会の宣告

○齊藤委員長 急遽、お誘い申し上げましたところ、お集まりいただきましてありがとうございます。

本日は、ちょっと1件ほど市議会のほうから決議書のほうを提出したいということで、皆さんに案をもんでいただきたいと思います。

時間はそんなにかからないと思うんですけども、こちらでもんでいただいた後に全協で説明をして、また、この後に議会運営委員会がございしますので、そちらで本審議をしていくという形になりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

ただいまから議会運営委員会始めたいと思います。午前中第1回目の部です。



◎協議事項

○齊藤委員長 それでは、協議事項に移ります。

(1)「肥料価格等の高騰により影響を受けている酪農・畜産農家への支援を求める決議についてです。

こちらは、全部僕でいいのかな。僕でいい。やる。

〔「委員長がつくっていただいたもので」
と言う人あり〕

○齊藤委員長 分かりました。

じゃ、皆さん今、配信された内容を御覧いただいてよろしいでしょうか。

全体的な流れを申しますと、事の発端は公明クラブさんのほうからこういった市民からの要請があるということで、常任委員会のほうに一旦御相談がございました。

常任委員会でできることと、うちら議会運営委

員会でできることというのがそれぞれ分かれておりますので、常任委員会のほうにおきましては、国・県に対する意見書の提出、我々この議会運営委員会で出すのは、それを受けて市に対する決議書ということで分かれておりますので、内容はほとんど一緒なんですけれども、市の部分が我々関わっているということで御審議いただければと思います。

内容については、ほぼほぼ文章は一緒なんですけれども、一番最後のその物価高騰を受けて、これまで国もたくさんの支援をしているんですけども、全国2位を誇る生産量の畜産業の那須塩原市はとても状況が厳しいということで、市においても独自に何かしら、こないだの10万円もいただいておりますけれども、支援ができないかという内容になっております。

文書がだーっと書いてあると思うんですけども、決議書の一番下の3行ですかね。よって市においては、価格高騰の影響を可能な限り緩和し、酪農、畜産農家の負担軽減により事業が維持できるよう下記の事項ということで、至急実現されるように強く要望するというので、1から4番にさせていただきました。

田村代表とはお話ししてやらさせていただいたんですけども、一番上に実態調査をすぐ行ってくださいということですね。

2番目は、そのマッチング。国がこういった政策を出しておるので、その支援策を見つけてつないであげてくださいという内容になっています。

3番目は、経営規模に応じた経営措置を講じられたいということになっています。

最後4番目が、この牛乳、乳製品のさらなる消費拡大のために市が率先して、広報やSNS等を用いてあらゆる機会を通じて販促をしていただきたいということと、市議へ投げかけていただきました

い、この4つにまとめてみました。

この内容で皆さんのほうの御意見をいただき、大丈夫であれば、この状態のまま今度決議として全協で説明させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願ひしたいと思います。

皆さんのほうで何か質問。

鈴木委員。

○鈴木委員 これは、この内容をここでもむんです。それとも、この内容のものを議案として提出することを議運で諮っている、どっちなんですか。

○齊藤委員長 この今、私がこれ案として常任委員会を受けて作っているやつなので、ここの内容でもしもむものがあればもんでいただいて構いません。

○鈴木委員 ここで、もんでいいの。

○齊藤委員長 いや決議文ですから、ここで皆さんでいいよという話になれば。

ただ、そんなに150%変わるような内容ではないとは思うので。

何かもしあれば。

鈴木委員。

○鈴木委員 物価高騰じゃなくても酪農家はいつもこんな気持ちを持っているんじゃないかと思うんですよ。

那須塩原市が2位になった原因というのは、要因、原因と言うとあれだから要因だと、地元じゃないところから会社経営で来たところが結構出荷額が多くて、それで2位に押し上がったんじゃないかなというところなんですけれども、本市の酪農の状況を考えると、やっぱりここに根づいている人たちが、酪農家を一番支援してあげたほうがいいんじゃないかなということ若干ここに多少触れているような気はするんですけれども、この決議文がそこを主体としているのかなというところをちょっと確認したいのと、あと、これを議会

が出すということは、ある意味、要するに常に施策には予算がかかるので、議会としてはいわば今の予算の中でどれぐらいの予算をここに投じたらいいいんじゃないかという、それぐらいの試算はちゃんと持ってこれ作っているのかなというところ、ちょっと確認したいなと思います。

○齊藤委員長 大規模の営農している方々と個人でやっている方というのをくくめての案にしか、やっぱり小規模酪農家だけ救ってあげてくださいというところは書けないので、基本的には先ほど言ったとおり全国2位になったというのは、たまたま実績かもしれませんが、新聞にも報道にもあったとおり、子牛が肉牛酪農家だと全然子牛が売れない状態になっていたり、売れない要は育てたくないから買わないとなっちゃって、その分の餌を支給しているんですけども間に合わないという話を聞いたり、牛乳のほうも減産を頑張っているんですけども、毎日食べる牛にあげられる餌の干し草のほうはあったとしても、その配合飼料のほうはどうしても輸出の円安の影響で直撃しているという話をお聞きしたので、基本的には全体が含まれているというのが一つ。

予算規模なんですけれども、確かに1件当たりどういうふうにしたらいいんだという内容は、我々で何か提案してできるというわけではございませんが、国の支援のほうでは、前回からも一旦支援が行われているのが配合飼料1本当たり6,750円の案ということで、そういった国の施策は多分既に入っているのではないかとこのところが想定されるんですけども、ただ、それだけではちょっと暮らしていけないということと、本市基幹産業ということなので、ここは決議という一番最上位の位置で酪農家を救っていかうという思いが入っていますので、ちょっと値段的には言えないのは申し訳ないんですけども、内容的には

皆さんでもんでいただいて、那須塩原市議会として酪農家を救おうという思いは伝わればいいかなと思っております。ちょっと説明になっているかどうか分かりませんが。

○鈴木委員 話として酪農家を救おうという思いは入っていればいいかなというのは、それはそのとおりだと思うんですけども、例えば、世界の経済となるとやっぱりトヨタが勝ち残るとすれば、支援してくれというより自助努力をしっかりとしているところがモデルで、那須塩原市が一番だと誇るなら逆に那須塩原市が強みがあって大きくなっているんだから、本来小さなところが状況が悪いところでなくて生き残りたいからというところ支援していくというものだと思うんですよ。

だから、2番なのに支援してくれというのは、やっぱりもうちょっとこう駄目なものは駄目だし、何て言うんだらう。要するに、議会にすぐ要求してくるとすぐ対応するという、こう何て言うんだらう。そういうポピュリズム的な議会であってほしくないと思っているのね。

だから、今回これ出すのは別に問題はないと思うんです。これに対して不満はないんだけど、やっぱりちょっとこう何と言うかな。市民から要望があったらすぐぱっと出すというんじゃないくて、やっぱり1番はいいと思うんだよね、すごく。この現状を見ていると。そこでどう対応するかというところが、議会ですらあれば、いいかなと思っているんですよ。

だから、あまり過剰にぱっぱぱ言われたらすぐ反応するんじゃないくて、じっくり捉えていって、タイミング的にはもうちょっと国がやっている施策を見ながら、那須塩原市に本当に必要な施策を考えていくことがいいかなという気はするんですけども、それは私の感想で、皆さんがこう作ってきたものだから、何が、じゃこれおかしい

んじゃないのということは特にないんですけども、議会ってそういうふうに進めたほうがいいんじゃないかなというのをちょっと感じたことだけ言わせていただきます。

○齊藤委員長 ありがとうございます。

先ほども説明したんですけども、まずは建設経済常任委員会のほうから提案があったということですね。国県への要望というだけになると、先ほども申したとおり、もう国県の支援は一旦以上入っている状態と。ただ、今報道等に受けられて、本当に酪農家厳しいということと、自助努力で頑張っている内容にしても、資金繰りでも銀行がもうお金が回せるかどうか分からないというぐらいの危機的なところもあるんですけど。それを大規模農家だけとか小規模農家だけ何とかしてあげてくれなくなってしまうと、やっぱりきついで、市のほうにもできる限りのものをしていただけないかという内容ですから、1件の酪農家を全て救ってくれみたいな思いは確かにやり過ぎてしまうというところもあるんですが、こういったメニューを4番まで書かせていただいて、特に多分きついのには3番の条項だと思うんです。市に対しては、それ以外は、皆さんすぐできると思うんですけども。なので、そういったところも考えて、市がこの間の生産本州1位を推し、そして、今後ここに書いてあるとおりゼロカーボンで青木地区を街区にしてやっていくという中での取組の中の一つもやって、増産を目指して頑張らしましょうみたいな話と、この実情の酪農家が苦しいというところが相反しているの、それをやるのも分かるけれども、もう少しこの危機的状況を脱するために、市のほうで何とかできないかという決議を議会に出したいということなので、幾ら幾ら出してくれみたいなところはなくても考えるきっかけにはなるのかなと。

今回12月補正予算はもう終わってしまうので、そこに今後すぐ対応できればしてあげてほしいということで書かせていただいたものです。

伸彦さん言うとおりに、何でもかんでもあがってきたから決議を出すというのは、僕も常任委員長とも話したんですけども、実情がやっぱり市を代表する基幹産業の一つという理由と、あと決議まで持ってくる前には、こちらでも全然話し合える内容として協議して今回上げさせていただいたので、議会運営委員会のほうとしても重みというか、そこを持ちながら、あまり決議というのはぼんぼん出すもんでもないですから、最上位の意思ですよということになるので、今皆さんお諮りしているという状況なので、内容が別に大丈夫だというお言葉であれば、今の御意見は私のほうでも真摯に受けとめまして、提出に至ればなどは思っています。

その他ございますか。

小島委員。

○小島委員 私は、基本的に賛成です。

一般質問でも話したとおりに、非常に酪農家、畜産農家の厳しさありますので、こういう形で皆さん議会で一致して、こういう意見書を出すということは非常に重要だと思いますので、私は賛成です。

○齊藤委員長 先ほど遅れて来てから聞いてないんですけども、国県に対する意見書は常任委員会から、我々は市に対する決議書ということで。

○小島委員 分かりました。

○齊藤委員長 今までよりも重たいものを全会一致でやりたいと思います。

じゃ、内容的には大丈夫でしょうか。

〔「はい」と言う人あり〕

○齊藤委員長 局長。

○増田事務局長 この酪農、畜産という言葉、ちょ

っと調べてみたんですけども、酪農これ牛ですけども、畜産は豚や鶏、要は郡司豚とかそういったところもありますけれども、輸入飼料の高騰というところを受けているところを考えると、そういったものも対象になるという考えでいいんですかね。

○齊藤委員長 一応そこら辺は……。

○増田事務局長 担当部局から聞かれたときに、どこまで議員さんは、牛だけだぞと言われたときに。

○齊藤委員長 そうですね。基本的にはこの文面的に僕もそこはちょっと打合せしてなかったんですけども、生乳生産量を誇るころから入っているんで、基本的には何というか牛というか、肉牛、乳用牛と、そこから入っていつてもらえればということで。

実態調査がありますので、それに対してどういった影響があるかということと、牛乳、一応これ、その田村代表ともいろいろ意見言っていたんですけども、牛乳のPRして牛乳を売るということになっちゃうと、また餌あげるようになっちゃうから、減産するのも手段じゃないですかという話まではちゃんとしていたんですね。

国の補助メニューも牛を育てなければ、その分の補助も出すというメニューも逆にあるんですよ。とにかく今を耐えしのごうという話になっているので、一応大きく書いちゃっていますけれども、鶏もかとなっちゃったらすごい数いますから。

○増田事務局長 じゃ、確認で求められたときは牛だということで。

○齊藤委員長 ことのニュアンスで捉えていただければという話で。

一応これをいただいていますけれどもいいんですね……。

〔「牛で」と言う人あり〕

○齊藤委員長 牛ということなので、すみません。

こっちでここだけ直しちゃうと、意見書のほうがずれるので、すみません。統一していきたいと思っています。

そのほかございますか。

[発言する人なし]

○齊藤委員長 じゃ、なければ、この後全協のほうでも皆さんに紹介をさせていただいて、議案上程で賛否で何もなければ、この後の議運で状況を踏って明日発議として出したいと思います。

では、こちらの文章でよろしいということで異議ございませんか。

[「異議なし」と言う人あり]

○齊藤委員長 ありがとうございます。

今言ったとおり、今後のスケジュールは全協で説明して、明日の本会議上程という形で行っていきたいと思います。

じゃ、1番の協議事項は終わらせていただきます。

次に、(2)その他です。

何か議案をお持ちの方いらっしゃいますか。

[発言する人なし]

○齊藤委員長 なければ、事務局から何かありますか。

[「ございません」と言う人あり]

○齊藤委員長 ないですか。

—————◇—————

◎閉会の宣告

○齊藤委員長 じゃ、すみません。以上で第1回目の議会運営委員会を閉会したいと思います。全協後にもう一回議運ありますので、お忘れずにお集まりください。お疲れさまでした。

閉会 午前 9時44分